

トピックス

1号静清バイパス自転車安全利用ワークショップについて

【概要】

- 静岡国道事務所では、国道1号静清バイパス（清水IC西交差点～池ヶ谷西交差点）の側道部において自転車通行空間の整備を進めています。
- 道路利用者のニーズを踏まえ、安全で快適な自転車通行空間を整備し、利用してもらうためのハード・ソフト対策を検討するとともに、自転車利用者のマナー向上を図るため、有識者と道路利用者をメンバーとしたワークショップを開催しています。

【目的】

1. 利用者のニーズを反映した安全で快適な自転車通行空間の創出のため、利用者の方々と一緒に対策方針を考える。
2. 自転車通行空間整備後の適切な自転車の利用を促進するため、自転車のルールやマナーを理解していただく。

【スケジュール】

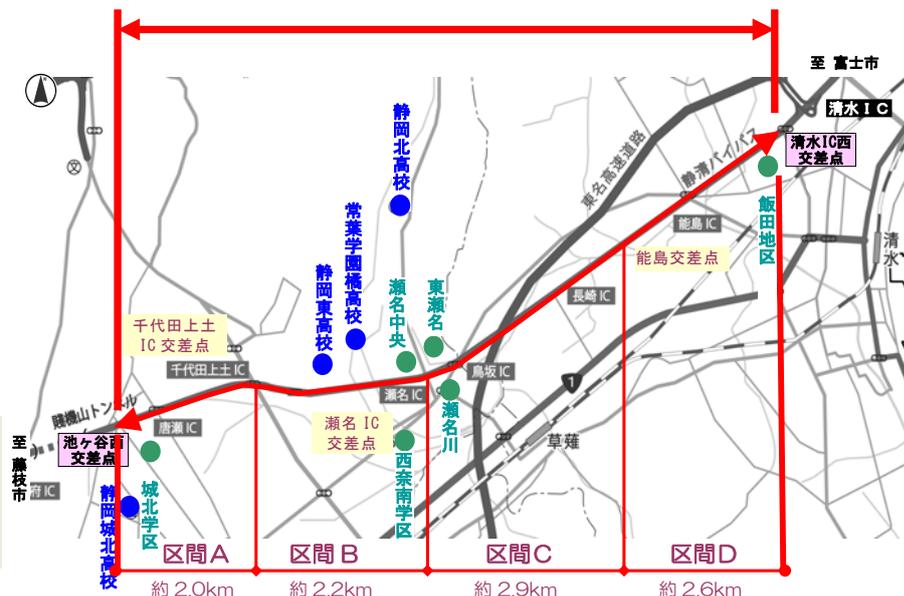
- 第1回**
平成25年3月21日(木) ・ワークショップの概要説明
・自転車通行ルール・マナーの勉強①
- 第2回**
平成25年7月11日(木) ・課題の抽出・共有
- 第3回**
平成25年9月26日(木) ・自転車通行空間のあり方の意見交換
・自転車通行ルール・マナーの勉強②
- 第4回**
平成25年11月13日(水) ・課題への対策方針の検討
・自転車通行ルール・マナーの勉強③
- 第5回**
平成26年1月30日(木) ・自転車通行空間の整備方針の決定
・自転車通行ルール・マナーの勉強④

■対象範囲

検討対象：静清バイパス側道部（清水IC西～池ヶ谷西交差点）延長=約10km

ワークショップでは、対象区間を4区間（区間A～D）に分け、班毎に各区間における自転車通行空間を議論しました。

- 1班：区間A
- 2班：区間B
- 3班：区間C
- 4班：区間D



■ワークショップのメンバー

ワークショップでは道路利用者である沿道住民の方や学生、プロドライバー、行政などが参加し、学識者や専門家の意見を伺いながら、意見交換を行いました。

	氏名・所属等
ファシリテーター	埼玉大学大学院 小嶋文助教
専門	しずおかモビリティ研究会 村井裕代表
沿道住民	沿線の連合自治会
自転車利用者	沿線の高等学校
プロドライバー	タクシー協会
自治体	静岡市、静岡県
警察	静岡県警察
交通安全協会	静岡県交通安全協会
事務局	静岡国道事務所（交通対策課）

第5回 1号静清バイパス自転車安全利用ワークショップを開催しました！！

第5回ワークショップでは、32名の方にご参加いただきました。静清バイパスにおける自転車通行空間の整備方針とともに、ソフト施策の取組みに関して意見交換を行いました。

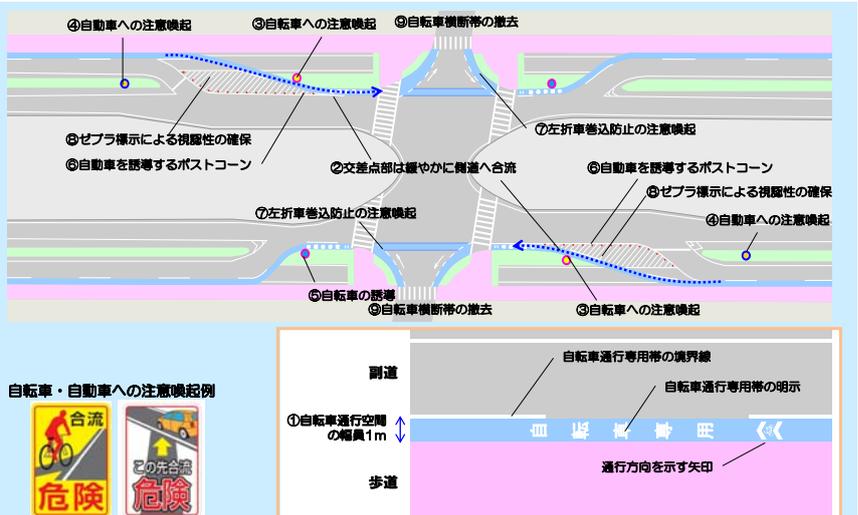
① 自転車通行空間の整備方針に関する意見交換

事務局より提案した自転車通行空間の整備方針を確認し、概ね了承をいただきました。さらなる安全対策について意見交換を行いました。

副道がある場合

●整備方針

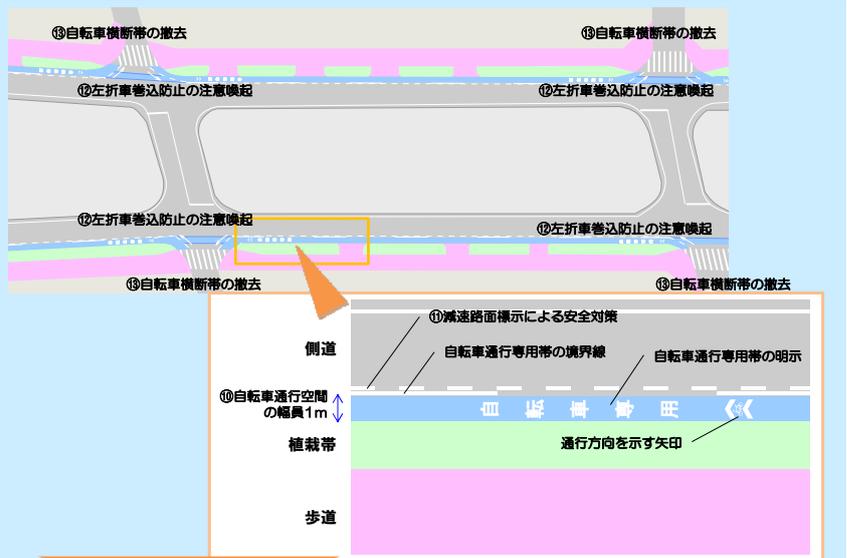
- ①自転車通行空間の幅員 1m
- ②交差点部は緩やかに側道へ合流
- ③自転車への注意喚起
- ④自動車への注意喚起
- ⑤自転車の誘導
- ⑥自動車を誘導するポストコーン
- ⑦左折車巻込防止の注意喚起
- ⑧ゼブラ標示による視認性の確保
- ⑨自転車横断帯の撤去



副道がない場合

●整備方針

- ⑩自転車通行空間の幅員 1.0m
- ⑪減速路面標示による安全対策
- ⑫左折車巻込防止の注意喚起
- ⑬自転車横断帯の撤去



●安全対策に関するご意見

- ・車高のある自動車が自転車を確認するミラーを設置してほしい。
- ・交差点部、副道と側道の合流部、自転車通行空間の幅員が十分に確保できない区間においては、自動車・自転車の双方への注意喚起を行ってほしい。

●利用しやすさの向上に関するご意見

- ・信号待ち自転車の滞留場所を確保した方がよい。
- ・自転車通行空間において、段差や傾斜等、現状の路面状況が悪い部分がある。配慮した整備としてほしい。

●特殊部や交差道路に関するご意見

- ・静清バイパスから交差道路への左折車が多い交差点（唐瀬IC交差点・千代田上土交差点など）や副道と側道の合流部が近接する交差点（鳥坂IC交差点など）は、安全性を踏まえ個別に検討してほしい。
- ・静清バイパスのみでなく、交差道路においても自転車通行空間の確保を検討した方がよい。
- ・特に、自転車通学路となる道路は横断方法も踏まえて検討した方がよい。 など

②ソフト施策の取組みに関する意見交換

事務局より提案した通行ルールやマナーを浸透させるソフト施策の取組み（案）を参考に、実際に取り組んでいる内容や今後の取組みに関するアイデアについて意見交換を行いました。

■ソフト施策の取組みに関する事務局案

	内容	主体
ルール周知とマナー向上	供用開始後の通行ルールの周知と指導	警察
	静清バイパス自転車通行空間を活用したサイクリングイベントの開催	交通安全協会 静岡市 地域住民 NPO
	余裕のある通勤・通学の推奨 （朝活！30分前登校のススメ）	学校 企業
	学校における安全教育（整備後の現地で実践練習）	学校 警察
愛着の醸成	静清バイパス自転車通行空間の名称募集	国土交通省 静岡市
	静清バイパス自転車通行空間の活用に向けた意見箱の設置	学校
	自転車通行空間の運用ルールの作成	住民

実際に取り組んでいる内容

- 警察
 - ・幼稚園から交通安全教室を実施
 - ・小学校4年生に対しては自転車ルールの試験を行い、自転車免許を発行
- 静岡東高校
 - ・交通安全委員による駐輪指導
 - ・警察、交通指導員、生徒、教員、保護者による街頭指導
 - ・安全教室の開催（4回/年）

今後の取組みに関するアイデア

- ・「自転車は歩行者でも自動車でもなく、自分勝手に乗れる乗り物」という考え方を切り替えられるような取り組みが必要である。
- ・交通安全や自転車ルール・マナーについて家庭でも会話することが大切である。
- ・自転車利用者が参加できるイベントとして川柳を募集すると、楽しくルールやマナーを理解でき、愛着をもちやすい。
- ・「余裕のある通勤・通学の推奨」は家庭でも行うとよい。
- ・自転車を運転する生徒の中には「運転者」としての自覚が少ない生徒もいる。学校において、アンケートや各教室での話し合いが必要だと思う。 など



意見交換の様子



意見交換の様子